

プロ野球「広島東洋カープ」のファンコミュニティに関する研究

檜原 涼平

広島東洋カープ(以下、カープ)は日本のプロ野球団の一つである。近年、広島東洋カープのファン(以下、カープファン)が急増するとともに、カープファンのマナーの悪さが問題視されている。先行研究では、カープファン全体の特徴を捉える研究は行われているが、カープファンというコミュニティを形成している個々のファンに焦点が当てられた研究はあまり行われていない。そこで本研究では、カープファン一人一人に焦点を当て、カープファンのファンコミュニティの構造の変化を明らかにする。また、他球団ファンへの調査も行うことで、より明確なカープファンの実態を知ることができ、現在のカープファンのマナーが向上するきっかけになると同時に、カープファンに限らずプロ野球ファンのこれからを照らす材料になると考えた。

本研究では、半構造化インタビューと参与観察を研究手法として採用した。半構造化インタビューでは、カープファンを中心とする15名を対象とした。また、インタビューを補完するためにマツダスタジアムで1回、阪神甲子園球場で1回、鳴尾浜球場で1回の参与観察を行なった。いずれの調査も、2019年4月から12月にかけて実施した。

本研究の調査から、以下のことが明らかになった。(1)カープファンそのものが急増したことにより、ファンの言動が変化した。(2)また、カープファンが急増したことにより、カープファンの内部でコアなファンとミーハーなファンとの差が目立ち始めた。(3)コアなファンとミーハーなファンの分類方法はいくつかのカテゴリに分けることができるが、結局知識の差に収束することがわかった。(4)カープファンにおけるミーハーなファンの象徴であるカープ女子という言葉は、複数の意味を持つ言葉であり、ミーハーな女性カープファンということだけを表している言葉ではない。(5)カープファンのマナーの悪さが問題視されることで、カープファンからも他球団ファンからもカープファンは民度が低い、その代表はカープ女子と言われているが、民度という言葉の定義は人によって異なる。よって、必ずしも民度が低いという言葉でカープ女子を表すことができるとは言えない。民度という言葉は、明確な定義がなく、イメージによって様々な言葉と結びつく万能な概念であることがわかった。

上記の結果から、カープファンとは、ファンが急増したことによってミーハーなファンも急増し、カープ女子という独自の文化もそれに伴い大きくなっていったことで、複雑な構造を持つようになったコミュニティであることがわかった。

(指導教員 照山絢子)